

令和4年3月22日

病床が全て稼働していない病棟の今後の運用計画

医療機関名	医療機関名
白十字総合病院	神栖済生会病院
①病棟を稼働していない理由	① 病棟を稼働していない理由
<p>*看護師不足による休棟。</p>	<p>現在、当院では新病院構想および新棟建設を見据え看護師等人材の確保に努めてきました。しかし、新型コロナウイルス蔓延のなか、感染防御や陽性者の対応の充実を図る一方で職員の著しい負担増加を防止するため、稼働病床数を減らし柔軟な病床運用を図っております。</p>
②当該病棟の今後の運用見通しに関する計画	② 当該病棟の今後の運用見通しに関する計画
<p>*今後の看護師充足計画</p> <p>※病院併設看護専門学校においての奨学生確保の推進及び求人活動による採用。</p> <p>令和3年度4月採用実績 12名+年度内4名=16名</p> <p>令和4年度4月採用見込み 17名</p> <p>令和5年度4月採用見込み 21名</p>	<p>コロナ終息後は、新病院構想および新棟建設に向けて、引き続き人材の確保、育成など組織力の強化に取り組み全病床稼働できるよう計画しております。整形外科入院患者の増加に伴い、稼働させていないベッドを運用し急性期として運用予定です。</p> <p>また、令和4年4月に看護職員等の入職が予定されているので、入職から半年を迎える10月に全病床を稼働する見通しにあります。</p>

令和4年3月22日

病床が全て稼働していない病棟の今後の運用計画

医療機関名	医療機関名
済生会土合クリニック	土浦協同病院なめがた地域医療センター
① 病棟を稼働していない理由	①病棟を稼働していない理由
<p>当クリニックは本院（神栖済生会病院）と一体となった運営を前提としており、本院からの職員派遣及び病診連携を図り地域医療を支えていくこととしておりますが、鹿島労災病院との再編統合後も本院の医師・看護師不足等が解消されず、当クリニックへの十分な支援を行うことは困難な状況にあります。</p> <p>当初計画においては、外来診療を軌道に乗せた後、病床の運用を開始する予定でしたが、外来患者数が低調であり、また、入院適用と判断される患者が少数という状況等から病床の運用開始には至っておりません。</p> <p>※1日平均外来患者数 51.1人（令和2年度実績）</p>	<p>慢性的な医師不足に加え、周辺地域で進行する過疎化により患者数が減少し、今後の収支改善が見込めないことから、運営母体である茨城県厚生農業協同組合連合会の判断により、令和1年4月から、入院機能を地域包括ケア病棟（49床）のみに縮小して運営していたものを、令和3年4月、許可病床（199床）の全てを休床し、外来診療に特化した診療体制としている。</p>
② 当該病棟の今後の運用見通しに関する計画	②当該病棟の今後の運用見通しに関する計画
<p>病床の運用開始に向けては、外来診療機能の充実を推進し、外来患者数を増やすことはもとより、本院の医師増員等による派遣の拡充並びに本院との病診連携により入院患者を紹介・逆紹介する仕組みの構築を図る必要があります。</p> <p>本院と一体的な医療提供を行うことを前提に、入院患者を安定して確保できる環境をつくり、病床の運用開始に繋げていきたいと考えております。</p> <p>なお、本院においては、新病院整備と併せて医師確保の取り組みを進めることにより、当クリニックの診療体制の充実強化及び入院患者数の増加を図ることとしております。</p>	<p>当院は、令和3年4月から、外来診療に特化した診療体制で運営しており、今後、全ての許可病床（199床）を返還することを想定しているが、返還時期や返還後の病棟の利活用については、今後検討していく。</p>